

待招士博シイタユシニアの院士學國帝



相対性原理を以て世界の學界に一大功績を成したるアインシュタイン博士は豫て東洋漫遊の志を抱いてゐたが感々其の機熟し大正十一年十一月十七日郵船北野丸に便乗神戸に入港翌十八日東京に到着した。乃で我が國の碩學を以て成る帝國學士院は二十日午後博士を小石川植物園に招待して歡談に時を過した。當日の參會者は院長穂積陳重博士を始め井上、長井、長岡、古市、田中館、北里、石川、藤澤の諸博士で、ア博士は夫人と共に臨席極めて満足氣に見受けられた。寫眞の前列中央はア博士、左同夫人である。